第1回 東大阪市中小企業振興会議 労働雇用部会

日時 令和7年10月2日(木) 午後5時~午後6時30分 場所 クリエイションコア南館 3階研修室A

次 第

- 1 開 会
- 2 案 件
 - (1) 前回の労働雇用部会の振り返りについて【資料1】
 - (2) 令和8年度事業(案) について【資料2】
 - (3) 令和8年度アンケート調査(案)について【資料3】
 - (4) その他
 - 3 閉 会

令和7·8年度中小企業振興会議第1回労働雇用部会

令和7年10月

2つの側面から支援

2側面からの支援

- ・働く意思を持つ人への支援 (求職者支援)
- ・人材不足に悩む企業への支援 (企業支援)

人材不足の 解消

人口流出・ 滅少の抑制 産業の 活性化

まちの 活性化 就労を通した 社会進出

人口流出・ 滅少の抑制 ひとりひとりが 活**躍**

まちの 活性化

そのためには・・・

多様な人材の積極的な活用

学生及び若者へのアブローチ 企業への支援

が必要

前回の部会での提言

- 1. 高齢者の就業を促進すること
- 2. 女性の安定的な就労を促進すること
- 3. 求職者から選ばれる企業となるための魅力をつくること
- 4. 市内企業の魅力について知ってもらうよう情報発信を行うこと
- 5. 教育との連携について

1. 高齢者の就業を促進すること

①ミドル世代の時期から高齢期のセカンドキャリアについて考える機会を提供する



令和6年度 企業向けセミナー

「45歳以上社員向け東大阪企業合同研修」

日時:令和6年11月25日(月)10:00~11:30

形式:Zoomライブ配信

対象:市内で働いている45歳以上の方

内容:これからのキャリア転機に向けたライフデザイン講座

自社でのモチベーションアップや退職後のセカンドキャ

リアについても考える

参加者数:6社(目標10社)

満足度:80%

課題:・在職者向けのセミナーを開催したところ、

参加者数が伸びなかった

・対象者に内容が伝わらず、興味を持ってもらえな

かった

①ミドル世代の時期から高齢期のセカンドキャリアについて考える機会を提供する



令和7年度 求職者向けセミナー

「将来に向けて知っておきたいお金の話」

日時:令和7年10月30日(木)14:00~15:40

対象:40歳以上の方

内容:生涯現役で働く必要性についてお金の問題

も含めて学ぶ講座

定員:50名

昨年度の課題をふまえ、対象をミドル世代の求職者に変更し、老後の資金などお金にまつわるテーマにすることで、参加しやすくした

②企業へ高齢者雇用のメリットを周知し、自社での雇用を想定した 受け入れ体制を整え、新規採用も含めた雇用を促進する



令和6年度 企業向けセミナー

「令和時代の新たな採用手法 半社員×副業人材で人材不足解消を!|

日時:令和6年8月27日(火)14:00~15:30

形式: Zoomライブ配信 対象: 人事・採用担当者

内容:週3日勤務の半社員採用を中心に副業やシニア

人材の活用を学ぶ

参加企業数:8社(目標10社)

満足度:100%

参加企業の高齢者採用に関するアンケート結果

・採用予定あり 1社

継続雇用 8 社

・採用予定なし 3社

②企業へ高齢者雇用のメリットを周知し、自社での雇用を想定した 受け入れ体制を整え、新規採用も含めた雇用を促進する



令和6年度 企業向けセミナー

「離職者のホンネと企業の離職防止戦略」

日時:令和7年3月13日(木)14:00~15:30

形式: Zoomライブ配信 対象: 人事・採用担当者

内容:退職代行業者が収集したデータをもとに、

シニア世代などの「本音の退職理由」を考

察し、人材定着に向けた解決策を探る

参加企業数:44社(目標10社)

満足度:94%

参加企業の高齢者採用に関するアンケート結果

・採用予定あり 8社

継続雇用 15社

・採用予定なし 18社

③シルバー人材センターを活性化させることで働く場の選択肢を増やす

シルバー人材センター会員数

	西地区	西地区中地区	
会 員 数	651人	583人	391人
人 口 (60歳以上)	61,455人	59,516人	41,857人
租入会率	1.06%	0.98%	0.93%

令和7年8月31日現在

課題

- ・登録している会員の地域の偏り
- ・会員の平均年齢(73歳)が高齢化している
- ・租入会率が低く、受けられる依頼が限られる
- ・シルバー人材センターについてPR不足



- ・会員数を増やすことで課題解決を図る
- ・シルバー人材センターの認知度を上げるため にどの方法が最適かセンター内で検討している

※租入会率の全国平均約1.6%

③シルバー人材センターを活性化させることで働く場の選択肢を増やす

シルバー人材センターの会員数増加のための取組み

入会までの期間を短縮

R6年度まで

例)第2火曜日AM説明会参加 第4火曜日PM講習会参加 合計2日間参加で会員登録



R7年度から(最短) 例)第2火曜日AM説明会参加 第2火曜日PM面談 最短1日で会員登録

入会説明会の開催場所の増加

令和6年度			
第2・第4火曜日 シルバー人材センター			
第3木曜日	四条リージョン		



令和7年度			
第2火曜日	シルバー人材センター		
第3木曜日	若江岩田リージョン		
第4水曜日	四条リージョン		

2. 女性の安定的な就労を促進すること



令和6年度 女性デジタル人材育成セミナー

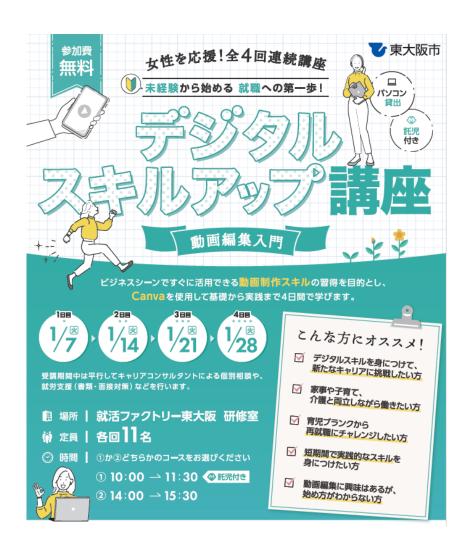
参加者

午前	午後
11名	10名

講座内容		
1日目	SNSマーケティングの基礎知識	
2日目	SNSの種類と運用方法	
3日目	広告やキャンペーンの効果的な運用	
4日目	データの分析と改善	

課題

- ・就職決定者は14名いたが、講座で得たスキルを活かした就職は4名
- ・SNSに関する内容が中心だったため、就職へつなげるのが難しい
- ・申込数が定員を超え、希望する全員が参加できなかった



令和6年度 女性デジタル人材育成セミナー

参加者

午前	午後
11名	11名

	講座内容
1日目	動画編集の基礎
2日目	動画制作入門 (広報宣伝、販促用動画作成)
3日目	撮影・編集実践
4日目	応用編集(音声編集とブラッシュアップ)

課題

- ・実践的なプログラムが少なく、スキルを活かした就職へ 結びつけることができなかった
- ・申込数が定員を超え、全員が参加できなかった
- ・就職目的以外で参加している方がいた

令和7年度 女性デジタル人材育成セミナー



講座内容				
1日目	オリエンテーション・Canva 制作基礎	9日目	模擬制作実習/オリエンテーション 模擬制作課題 実践	
2日目	Canva制作操作基礎 自己紹介制作物の作成	10日目	模擬制作課題 実践	
3日目	操作基礎/SNS画像制作 実習/SNS画像課題実践	11日目	模擬制作 課題解決	
4日目	SNS画像制作フィードバック 操作基礎/SNS画像課題応用	12日目	模擬制作発表/実習 ポートフォリオブラッシュアップ	
5日目	操作基礎/掲示物制作 実習/チラシ制作課題実践	13日目	クラウドソーシング経験者セミナー 模擬クラウドソーシング準備	
6日目	チラシ制作課題フィードバック チラシ制作課題応用	14日目	模擬クラウドソーシング	
7日目	操作基礎/SNS動画制作 操作基礎/SNS動画課題実践	15日目	クラウドソーシング準備フィードバック	
8日目	SNS動画課題実践フィードバック 操作基礎/SNS動画課題応用	16日目	実習/ポートフォリオブラッシュアップ ポートフォリオ発表	

令和7年度事業

「"在宅ワーク"入門プログラム」

対象者:就活ファクトリー東大阪に登録している女性

参加者:58名(定員50名)

概 要:

(日時) 7月3日~12月23日(全16回) 10時~12時

(形式) Zoomライブ配信 *初回のみ現地開催

(内容) Canvaを使用し、SNS・動画編集・チラシ制作 などクラウドソーシングに必要なスキルを学ぶ

令和7年度課題(要望)

- ・無断キャンセル、途中離脱がある
- ・講座時間以外での質問ができない
- ・受講生全員の作品を見たい
- ・自身の作品の添削もしてほしい
- ・オンライン講座のため受講生の交流が少ない
- ・受講者の理解度が把握できない

令和6年度からの改善点

- ・コースを1本化し、在宅ワークで収入を得るために、 より実践的なプログラムを実施(講座回数4回→**16**回)
- ・動画だけでなく、**ちらしやポートフォリオ等の作成を行う**
- ・クラウドソーシングへの登録ができるように**模擬クラウド ソーシングでの実践**を行う
- ・オンラインにしたことで、定員を拡大

令和8年度課題解決策

- ・事前説明会の実施
- ・受講生同士が交流できる仕組みを構築
- ・講座時間外で質問ができるチャット等の活用

3. 求職者から選ばれる企業となるための 魅力をつくること

①求職者が魅力に感じるような労働環境を整えていくように企業の意識を改革する

採用にお悩みがあるみなさん

助成金を活用して

「魅力ある職場づくり」に 取り組んでみませんか?

助成金を活用することで、初期投資を抑えな

がら、より良い職場環境を ます。従業員が働きやすい は求職者への最大のアピール

例えばこ

従業員の賃上げ に取り組みたい

仕事と家庭の両立を 支援する仕組みを 整えたい

> 従業員の スキルアップに 取り組みたい



動き方に関する様々な課題に対応す

働き方改革推進支援・賃金相



🚺 東大阪市

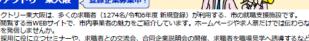
企業向けに助成金や相談事業を紹介するチラシを作成し周知する

令和7年6月作成

- ・近畿税理士会東大阪支部総会にて配布
- ・東大阪市企業人権協議会会員へ配布
- ・ハローワーク企業向けセミナーでの配布
- ・その他セミナー等で配布

東大阪市はこんなことやってます!!

■あなたの会社の魅力を発信しませんか



他にも、採用に役に立つセミナーV・水鳴ローレール 用に関するさまざまな企業支援を実施しています。 回路部 せびご登録ください! 魅力発信ページはこちら

■労働相談って従業員だけと思ってませんか

市役所本庁・ユトリート東大阪で労働相談を行っています。従業員の配置や昨今の休暇に関する法改正など経営者の方力

○市役所本庁 14階労働雇用政策室内 相談日時:月・火・水・金 9:00~17:30 相談員:大阪労働局 (ハローワーク) OB 対応内容:賃金・雇用・労働条件・ハラスメントなど ○ユトリート東大阪(東大阪市中小阪5-14-30) 相談日時:火・金・土 9:00~17:00 相談員:社会保険労務十 対応内容:賃金・雇用・労働条件・ハラスメントなど

■モノづくり人材の育成もちょっとやってます

大阪府立東大阪高等職業技術専門校にて製図、CADなどモノづくり企業で働くための基礎を学び、企業実習を経て就職を

日時:毎年10月~11月ごろを予定 内容: O技能講座 (11日間) ①製図②測定法③切削理論・工作法④CAD

o企業実習 (5日間)

■東大阪市の助成金

東大阪市障害者雇用奨励金

2. 適応訓練または障害者職業能力開発訓練施設等の修了した障害者を常用労働者として雇用する事業主

東大阪市トライアル雇用支援金

国のトライアル雇用助成金の支給を受けている市内に事業所を有する事業主の方

· 支 給 額:月額20,000円/対象労働者1人 支給期間:最長3か月間



令和7年9月~

- ・モノづくり支援室コーディネータが企業訪問する際 当チラシを配布し助成金の周知を図る
- ・モノづくり支援室の企業訪問に同行し直接企業にPRする



中小企業動向調査で助成金の利用状況等について調査実施 R8年1月予定(結果は3月ごろ)

②企業向けの国の助成金を社会保険労務士の活用も含め積極的に周知し、利用を促進することで、労働環境の改善に繋げていく

4 ~助成金のお知らせ~ 課題解消のヒント集 その心

女性・若者のスタートアップへの挑戦や、リスキリングへの支援など多様な

働き方の推進に取り組む企業を応援する



- ▶ 「人材開発支援助成金」は、職務に関連する専門的な知識や技能を習得させるための教育訓練等を行った場合に、 訓練に従事した時間分の賃金や訓練にかかった経費の一部が助成されます。
- ▶ 訓練の種類などによって複数のコースが用意されています。
- ▶ 中でも幅広い企業で活用できるのが「人材育成支援コース」で、令和7年4月から賃金助成額が拡充されています。
- 1. 【人材育成支援コースの助成率・助成額】

対象となる訓練		経費助成率	賃金助成額 (1人1時間当たり)	訓練終了後に賃上げ 等をした場合	
人共卒代訓练	正規雇用労働者	10 時間以上の	45%(30%)	800円(400円)	1,000円(500円)
人材育成訓練	有期契約労働者	OFF-JT	70%	800円(400円)	1,000円(500円)

- ・月1回、LINE・メルマガ登録者に配信
- ・市ウェブサイトに掲載
- ・就活ファクトリー東大阪のHPに掲載

労政ニュースでシリーズ化

配布月	助成金
令和6年9月	業務改善助成金・キャリアアップ助成金
令和6年10月	65歳超雇用推進助成金
令和6年11月	両立支援助成金
令和6年12月	人材開発支援助成金
令和7年1月	トライアル雇用助成金・人材確保支援助成金・女性専 用作業員施設設置経費助成
令和7年2月	障害者作業施設設置等助成金
令和7年3月	就職氷河期世代の採用や処遇向上に資する助成金
令和7年4月	外国人雇用で活用できる助成金
令和7年5月	両立支援等助成金
令和7年6月	賃上げに取り組む事業主を支援する助成金①
令和7年7月	賃上げに取り組む事業主を支援する助成金②
令和7年8月	人材開発支援助成金・大阪府リスキリング支援補助金
令和7年9月	キャリアアップ助成金

4. 市内企業の魅力について知ってもらうよう情報発信を行うこと

①市による情報発信を強化することで市内企業全体の認知度を上げる





「実際の雰囲気を見てみたい」 「入社後のギャップをなくしたい」 そんな方は、職場見学がおすすめです!

就活ファクトリー東大阪

就活ファクトリー東大阪の登録企業数376社 (令和7年7月31日現在)

<u>求職者の市内企業の選択肢を増やし</u> ミスマッチを防ぎ、就職へつなげる仕組みづくり

• 仕事見学プロジェクト

がんばる企業掲載45社の企業見学を案内 (令和7年7月31日現在) 求職者はキャリアカウンセラーと一緒に企業を選定



課題

企業セミナー参加者が定員を下回る ファクトリーと企業との接点がセミナーなど限られている ①市による情報発信を強化することで市内企業全体の認知度を上げる

中小企業と若者の交流事業(令和6年度から実施)

目 的:これから就職活動を始める大学生が中小企業の経営者と意見交換することで、

中小企業への理解を深め、学生の職業観の醸成や職業選択の幅を広げる交流会を開催。

実施主体:東大阪商工会議所(東大阪市補助事業)

開催日	開催場所	参加者数(企業・学生)
令和6年11月27日	大阪商業大学	5社・27名
令和7年1月10日	大阪経済法科大学	4社・24名
令和7年1月16日	近畿大学	4社・60名
令和7年5月19日	近畿大学	5社・40名
令和7年7月3日	大阪商業大学	4社・200名

参加者の声

企業

- ・学生と交流ができる貴重な機会となった
- ・学生との交流時間が短かった
- ・学生の考えを知る良い機会となった

学生

- ・これまでイメージしていた中小企業とは違い良いイメージができた
- ・中小企業は社長との距離が近く、自分に合っていると思った
- ・大企業だけでなく、中小企業も就職の視野に入れていきたい
- ・普段聞くことのない中小企業の代表と話せて良かった
- ・大企業と福利厚生の違いを感じた etc

②SNSでの情報発信が認知度を向上させるのに効果があるという認識を市内企業がもつように支援する



伝える力で「人が集まる会社」へ

ショート採用動画講座

スマホ1台で始められる、採用のためのショート動画活用術を学ぶ講座です。会社の"人柄"や"空気感"を動画で伝え、共感から応募につなげるコツを解説。撮影・編集・SNS活用・PDCAサイクルの回し方まで、実践的に学べます。

2 **7.16** (水) ま 14:00~15:30 オンライン開催



m-pixel labo 代表 毛利 美佳 氏

- ・チーフSNSマネージ
- 上野中一丁酸长士
- ・上級ウェブ広告マネージャー

Instagramを中心に、企業のSNSとWebの運用を支援 するデジタルマーケティングを包括的にサポート。

令和7年度 企業向けセミナー

日時:7月16日14時~15時30分

形式:Zoomライブ配信

内容:ショート動画を活用したSNS戦略

企業の認知度向上から採用へつなげるための

動画編集を学ぶ

参加企業数:9社(目標30社)

満足度:78%

課題:・参加企業が少ない

・SNSの重要性が理解されていない



SNSを活用した好事例を拡散していく!!

5. 教育との連携について

①市内企業を理解するためのプログラムを教育課程に取り入れることで モノづくりを身近に感じられるようになり、将来の市内企業を担う人材を育てていく

モノづくり体験教室(市委託事業)

モノづくりの楽しさを体験とともに学べる場として総合学習の一環で実施。 市内製造業の方が講師となり、子どもたちに授業を行う。 小学校を卒業するまでに1回は体験してもらう。

モノづくり体験塾(市後援事業)

製造現場の見学及び実地体験を通じて、製造業における考え方、モノづくりの難しさと楽しさ、 企業の課題とその解決方法、ひいては企業の理念や経営等を学んでもらい、 モノづくりで活躍する人材の発掘及び就職支援につなげることを目的としている。

 体験申込
 体験
 フォーラム

 内容カスタマイズ
 企業との対話
 成果発表

対象:高校生・大学生

期間:1日×3日間

半日×6日間

受入企業:27社

令和7年度ひがしおおさか地方創生ラウンドテーブル

【概要】

- ・住民基本台帳から無作為に選ばれた市民2,000人の中から参加者を募る。
- ・公募により、市内在学、在住の中高生を募る。
- ・テーマに基づき、コーディネーターと委員、市職員と議論を行う。
- ・議論から出た結果をもとに提案書を市に提出する。

【スケジュール】

10月5日に第1回を行い、合計4回のラウンドテーブルを開催

【テーマ(令和7年度)】

「子ども・若者が夢を叶えられるまちづくり」

【質問項目(予定)】

市内の中小企業の認知度について質問し、どのようにすれば身近に感じられるか、また、どのようにすれば就職先の候補として考えられるかについて意見をもらう。

女性デジタル人材育成事業

目 的:

育児や介護などによって就業機会が制約されやすい女性を対象とし、就労に直結するデジタルスキルを身につけ、安定した就労を目指す。

課題:

- ・無断キャンセル、途中離脱がある。
- ・講座時間以外での質問ができない。
- ・オンライン講座のため講座内での交流が少ない。
- ・受講者の理解度が把握できない。

令和8年度事業(想定)

対象者:市内在住かつ求職中の女性

定 員:40名程度

目 標:正規・非正規を問わず就業決定者

内 容:デジタルスキルの習得から就労の実現までを、

一体的に支援する。

○事前説明会の実施

事前に講座の内容や趣旨、最終目標が就業であること を説明し、ミスマッチを防ぐ。

〇連続講座(オンラインを想定)の開催

企業への就職と、受講者自身がクラウドソーシング・アウトソーシングなどで収入を得るという2つのパ

ターンを想定した内容で講座を開催。

受講者が取得したスキルを実際の就業に活かせるレベルに達することを目的とする。

〇就労支援

アウトソーシング事業への登録なども想定した支援を 行う。

〇アンケート調査

講座の感想や就職状況についての調査を行い、次年度 以降の事業へ活かしていく。

企業支援事業

目 的:

学生や求職者に対し、市内の中小企業がSNSを活用するための魅力発信のスキルを身につけることが重要である。そのために、企業がTikTokやInstagramなどのプラットフォームを活用できるよう支援する。また、市や成功した企業から好事例を周知することで、市内企業のSNS利用を促進する。

課 題:

- ・参加者が定員に達しなかった。
- ・採用に関するセミナーは参加者が多く重要視されているが、SNS関連セミナーの参加数が少なく、SNSと採用の関係性が理解されていない可能性がある。

令和8年度事業(想定)

対象者:市内中小企業

定 員:20社程度

目標:セミナーで得た知識を、支援を受けながら実践

することで、継続してSNSの運営を行えるスキルを身につける。また、好事例を発信して、他

の企業にもその必要性を認識してもらう。

内容:

- ・自社でTikTokやinstagramなどに投稿できるように企画・撮影方法や編集から投稿まで伴走して支援を行う。
- ・成功事例を周知することで、市内企業のSNS利用の促進につなげる。
- ○セミナーの実施 SNSの運用方法にかかるセミナーを実施。
- ○専門スタッフによる伴走支援セミナーを受講後、撮影方法や編集、そして投稿管理に至るまで、マンツーマンで伴走支援を行う。支援を受けながら実践することで、支援終了後もSNSの運営を継続できるスキルを身につける。
- ○好事例の周知 セミナーや市の媒体等を通じて他の企業へも周知する ことで、SNSの利用を促進させる。

就活応援窓口事業(就活ファクトリー東大阪)

目的:

学生等を含む若者や女性をはじめ、就職を希望するすべての 方に対し支援を行い、就職に繋げる。また求職者とモノづく り企業をはじめとする市内企業のマッチングを促進するため、 市内企業の魅力の発信を行っていく。

課 題:

- ・セミナー参加者でカウンセリングに繋がらない求職者が一定 数おり、就職までの支援ができないケースがある。
- ・企業との接点がセミナーなどに限られる。
- ・企業向けセミナーが定員を下回る。
- ・企業に対してのフォローアップが不足している。
- ・就活ファクトリーの企業への認知が不足している。

事業概要

対象者: 求職者(メインターゲットは39歳以下の若

者・復職または、再就職を目指す女性)

人材確保を課題とする市内企業

目標:

新規登録者数	相談者数	セミナー参加者数	就職者数	企業登録数
1300名	1920名	2000名	570名	80社

内容:

- ○就労相談及びキャリアカウンセリング
- ○セミナー及び市内企業と求職者の交流
- 〇就職決定調査
- 〇市内企業支援

令和8年度改善点(想定)

- 〇企業見学を前面に出し、カウンセリングから企業見学へつなげていく。
- 〇モノづくり支援室コーディネーターに協力してもらい、ファ クトリーの周知を図る。
- O企業向けセミナーはアーカイブ配信するなど、いつでもファ クトリーと接点ができるように改善する。

労働雇用に関するアンケート調査の必要性について

昨今の労働市場は、就活生にとって有利な売り手市場となっており、東大阪市内の中小企業の採用は厳しい状況が続いている。ハローワーク布施管内の令和7年7月の有効求人倍率は0.88で1を下回っているものの実態は職種によるバラつきが大きく、市内中小企業に多くある製造業の有効求人倍率は1.57となっており、人手不足であることがうかがえる。

そのような情勢の中、企業側も学生の採用のために様々な工夫が求められる。特に、コロナ禍以降、就職活動の方法も様変わりしており、最近では多くの学生がスマートフォンを用いて就職活動を行っている。求人情報アプリを利用して企業の情報や求人数をリアルタイムで確認したり、SNSを通じて自分の興味のある企業の情報を集めたりすることが、企業検索のメインツールとなっている。対して、合同企業説明会の参加者数は減少傾向にある。東大阪市においても、東大阪商工会議所が実施した合同企業説明会では令和3年度を境に参加者が半分以下となっており合同企業説明会では企業のPRが難しい状況になっている。東大阪市内の企業を知ってもらうには企業自身が就活生に向けた、SNSを利用した情報発信が求められている。

また、就活生の就職に関する意識について、マイナビキャリアリサーチラボの「2026年卒大学生就職意識調査」によると、大手企業志向は51.8ptと依然として過半数を超えているものの、前年よりは減少した。一方、中小企業志向は43ptで前年よりやや増加した。企業規模だけで決めない学生も4割以上いる中、どのようにして市内の中小企業をアピールしていくことが有効であるのかを調査するため、令和8年度に学生及び市内中小企業に対してアンケートを行いたいと考えている。これにより学生の就職に関する意識と企業の採用に関する意識を見える化し、支援策の参考にしていきたい。

開催日時	開催場所	企業数	来場者数
令和1年6月21日	近畿大学11月ホール	4 4 社	108名
令和2年10月27日 令和3年1月28日	東大阪商工会議所	30社 25社	100名 75名
令和3年8月3日 令和4年1月26日	東大阪商工会議所	27社 24社	5 4名 3 5名
令和4年6月27日 令和5年3月8日		27社 22社	28名 20名
令和5年10月19日	東大阪商工会議所	28社	8名
令和6年10月22日	アクセス梅田フォーラム	25社	30名
令和7年6月18日	アクセス梅田フォーラム	25社	3 5名

学生向けアンケート

1. 希望する企業規模

大企業か中小企業かについて問う。なぜ大企業(中小企業)なのかの理由についても問う。大企業志向の理由から、中小企業がアピールできる強みを探す。

2. 希望する福利厚生

福利厚生のどういった部分を重要視しているかを見える化する。

3. 企業選択のポイント

企業のどのような点(給与含む)に学生が魅力を感じるかを把握することで、その魅力を効果的にアピールしていく。

4. 就活を始める時期

学生が就活を始める時期にPRをしていく必要があるので、その時期を明確にする。

5. 企業の情報収集方法

合説の参加者が年々減少している中で学生はどういった方法で企業の情報を集めているのか探り、PR手法として明確にする。

6. 志望業種

学生が希望する業種の理由を探ることで、学生にアピールできる部分を探る。

7. 魅力を感じない会社

学生が魅力を感じない企業についてその要因を把握し、企業が対策できるようにする。

企業向けアンケート

1. 給与関係

初任給や手当についての質問する。(初任給は新卒を対象)

2. 福利厚生関係

最近の学生は給与や福利厚生を重要視しているため会社側がどういった工夫をしているのか、調査する。

3. 採用したい人材

市内の企業が採用したい人材の年齢層やスキルについて深堀することで、求職者支援 に繋げていく。

4. 採用の予算・人材・期間

採用活動を開始する時期を把握し、学生の就活開始時期とのズレを解消する。

5. 情報発信

採用に向けて、自社のPRをどのように行っているかを調査することで、学生の情報収集方法とのズレがないか把握する。

6. 今後の採用方針

毎年新卒採用をするのか、中途採用をメインにするのか等、企業の採用方針を把握することで、施策の対象について把握する。

資料4

東大阪市中小企業振興会議 労働雇用部会 委員名簿

(順不同・敬称略)

役 職	氏 名	役職等
部会長	衣 笠 葉 子	近畿大学法学部 教授
委 員(臨時委員)	田中聡一	近畿工業株式会社 代表取締役
委 員	西 松 あゆみ	西松税理士・中小企業診断士事務所 所長
委 員	葉 山 三三子	ジャパン合同事務所 特定社会保険労務士
委 員	柳沢太郎	布施公共職業安定所 所長

計 5名 (令和7年10月2日現在)